



令和6年度 須賀川市立白方小学校グランドデザイン

- 第7次福島県総合教育計画～学びの変革推進プラン
- 県中教育事務所 学校教育指導の重点
～「ゆめ」「願い」がかなう教育の推進
- 須賀川市教育委員会 学校教育目標
～子どもの自尊感情を高め、個性や生き抜く力を育む
学校教育の推進

教育目標

**夢や希望に向かってともに支え合い、幸
せをつむぎ合う白方の子どもの育成**

保護者・地域の学校への願い

- 思いやりのある子に育ててほしい。
- 学力のある子に育ててほしい。
- 自分の考えをもって行動できるように育ててほしい。
- 基本的な生活習慣をしっかり身に付けてほしい。
- 地域の方々との温かい交流の場を大切にしてほしい。

目指す学校の姿

- 子どもが楽しいと実感する学校
- 保護者が通わせたいと願う学校
- 地域住民が大切にしたいと思う学校
- 教職員が協働的に力を発揮し合う学校

目指す子どもの姿

仲間とともにいきいきと学ぶ子ども

だれにでも優しく温かい子ども

励まし合いながらやりぬく子ども

- ① 小規模校の利点を活かし、弾力的で創意ある児童主体の教育活動を展開する。
- ② 「協同的な学び」を積極的に取り入れながら、児童相互に聴き合う力を育成する。
- ③ 特別支援教育に力を入れ、個別の指導計画、個別の教育支援計画を十分に活用して個に応じた指導を継続的に行う。また、特別支援教育支援員の効果的な支援を取り入れる。

- ① 道徳教育の充実を図る。特に道徳科「B主として人との関わりに関すること」の指導を要として自己を見つめ他者を思いやる豊かな心の育成を図る。
- ② 特別活動の充実を図る。特に学級活動（1）の指導に力を入れ、互いに尊重し、よさを認め合う子どもの育成を目指す。
- ③ 基本的な生活習慣の定着を通して活力ある学校生活を目指す。

- ① 日々の健康指導や委員会活動の指導を通して、児童が自他の健康を大切にする機会の一層の充実を図る。
- ② 肥満傾向の児童の実態を考慮しながら、互いに声を掛け合い、一定の運動量確保をめざす体育科の授業を展開する。
- ③ 児童・保護者との個別面談を随時実施して健康課題を把握し、心と体をより健やかに保つための指導を組織的に展開する。

特色ある学校づくり

（1） ユネスコスクールとしての取組

- ① ESDの視点に立った学習指導を継続し、「児童が自らの手で自己の人生を切り拓き、豊かで持続可能な社会の作り手」となることができる基礎的・汎用的な力を育てる。
- ② 白方学（総合的な学習、生活科）を意図的計画的に推進すると共に、積極的な人材活用（地域、関係者、関係機関等）を図る。

（2） 小中一貫教育と幼小連携の積極的な展開

- ① 岩瀬中学校区小中一貫教育を推進し、ふるさと岩瀬に誇りをもち、夢や目標の実現に向かって努力する子どもの育成を目指す。
- ② こども園のアプローチカリキュラムと連動させたスタートカリキュラム作成・実施を通して円滑な幼小連携を目指す。

（3） 保護者・地域に開かれた学校づくり

- ① 地域とともにある学校づくりを大切にし、保護者・地域と連携・協力した教育活動を展開する。
- ② 多様な教育活動を通して、学校を核とした地域づくりに貢献する。